

TOPIC 16
正しい知識で
電波のルールを守る

11
15
白糖小学校で電波教室

北海道電波適正利用推進員協議会主催の「電波教室」が白糖小学校で開催され、参加を希望した同校5年生の6人が、電波の仕組みや性質、電波の正しい利用方法などについて学びました。

教室では、同協議会釧路地区の笠原邦夫代表が講師を務め、糸電話や電話を分解した模型での通話実験、DVDの視聴、はんだごてを使ったラジオ作りなどを行いました。今井優莉さんは「難しい話もありましたが、電波の大切さが分かって良かった」と話していました。



糸に金属の線を通すとどんな声に変わるのかを実験



「今週の給食が楽しみ」と4年の塚田柁君(左)、右は栗山君

TOPIC 17
酪恵舎のチーズや
大前産業のシソが給食に

11
15
ふるさと給食週間

15日～19日までの5日間、地域の食材を使った「ふるさと給食」が実施され、町内の児童・生徒たちが、新メニュー「サケのクリームスープ」や「シソザンギ」「ナガイモのバター焼き」などを味わいました。

初日は、地元のチーズやジャガイモ、ゴボウなどを使った「チーズカレー」、シソを使った新メニュー「シソホイップのフルーツ和え」が登場。

茶路小学校4年生の栗山泰地君は「とてもおいしい」とチーズカレーをおかわりしていました。



指導に当たったチャンドラさん(右)と清水さん(左手前)

TOPIC 13
バドミントンで
全国や世界を目指せ!

11
13
「ブルタンキス」トレーニング開講

スポーツ国際交流員としてバドミントンの指導をしているマデ・チャンドラ・ベラタさんによる「ブルタンキストレーニング(全18回)」が総合体育館で開かれました。インドネシア語で『バドミントン』を意味する『ブルタンキス』トレーニングは、全国や世界を目指す選手を育てることを目的に行われています。

初日は、全国大会への出場経験を持つ株式会社オカモトの清水更さん(24歳)が特別講師として指導。参加した選手たちは、真剣な表情で練習に励んでいました。

TOPIC 14
樹木葬墓所・合葬墓の
見学にたくさんの方が来場

11
13
樹木葬墓所・合葬墓現場見学会

樹木葬墓所と合葬墓の現場見学会が13、14日の両日開かれ、延べ約200人が坂の丘公苑墓地を訪れました。

樹木葬は165区画を整備し、1区画ごとに設ける収骨室は4～5体程度の焼骨を埋蔵することができます。

同月18日に役場で行われた予約の申し込みには、多くの方が訪れ、72件の予約となりました。

見学会に訪れた下原欣治さんは「少子高齢化や核家族化が進行しているの、こうしたお墓を整備するのは、とてもいいことだと思います」と話していました。



樹木葬を見学する参加者

TOPIC 18
アイヌ文様の刺繍に挑戦

11
16
アイヌ文様刺繍講座

町教育委員会主催の「アイヌ文様刺繍講座」がウレシバチセで開かれ、参加者10人が「オホ」と呼ばれる鎖状の輪を連ねていく刺繍で、マスクに伝統的な文様を縫い上げました。

講師は白糖アイヌ文化保存会のメンバー5人。講師の新藤真奈美さんは「一針一針ゆっくりと丁寧に縫うことが大切」と説明。参加した遠藤真由美さんは「だんだんとコツが分かってきて、難しいけれど楽しんで刺繍しています」と笑顔で話していました。



新藤さん(右)に聞きながら刺繍をする遠藤さん



今年のシシャモは高値ですが特価で販売

TOPIC 15
4店舗のシシャモを
食べ比べ

11
13
「白糖ししゃもの日」記念イベント

11月11日は「白糖ししゃもの日」。ししゃもの日を記念した「白糖ししゃもの日特売イベント」が13日、道の駅しらぬか恋問の屋外特設会場で開催されました。今年も吾妻水産や大森水産、山内水産、白糖漁協の4店舗が、それぞれ自慢の干しシシャモを特価で販売しました。

釧路市から訪れた湊千恵子さんは「遠くの親戚に送るため、毎年買いに来ています。今年もたくさん買ったので大満足です」と話していました。